

令和3年度進捗評価シート
大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）
（最終変更 令和3年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(豊町地区・長倉地区・桂城地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業	6
5 道路美装化整備事業	7
6 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	8
7 桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 歴史的町なみ調査事業	11
10 秋田犬情報発信拠点整備事業	12
11 大館神明社周辺環境整備事業	13
13 大館城下の町名標柱整備事業	14
14 まち歩きマップ作成事業	15
15 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	16
16 歴史案内人育成事業	17
17 小・中学校社会科副読本作成事業	18
18 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	19
19 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	20
20 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	21
21 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	23
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	24
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 バリアフリー基本構想(2件)	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 官民協働によるまちづくりへの機運の高まり	27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
計画実施のための組織体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

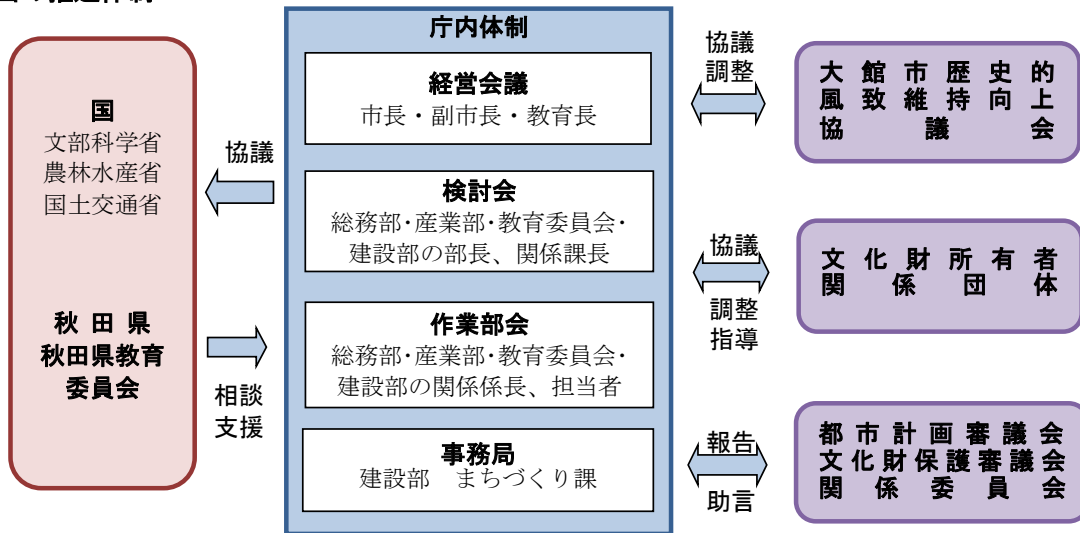
定性的・定量的評価(自由記述)

大館市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、大館市歴史的風致維持向上協議会を開催し、協議を行った。あわせて、前期5か年の取り組みに関するアンケート結果や外部有識者による評価などについて協議し、中間評価の承認を得た。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護、歴史研究会及びまちづくり協議会など各地域の関連団体と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

	名称	開催日
1	歴史的風致維持向上協議会	令和3年12月24日、令和4年3月28日
2	都市計画審議会	令和3年11月15日、令和3年12月20日
3	文化財保護審議会	令和4年3月30日
4	バリアフリーまちづくり推進協議会	令和3年8月17日、令和3年11月12日 令和4年1月25日、令和4年3月28日



歴史的風致維持向上協議会
(令和4年3月28日)



都市計画審議会
(令和3年12月20日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

人口減少や少子高齢化が進む中、将来あるべきまちづくりの方針を示した平成30年度策定の「大館市都市再興基本計画」と連携しながら、高齢者や障害者が自立した快適な生活や活動の実現に向けて、施設の利用上及び移動上の安全性や利便性を確保するため、「大館市バリアフリー基本構想」を令和4年3月31日に策定した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

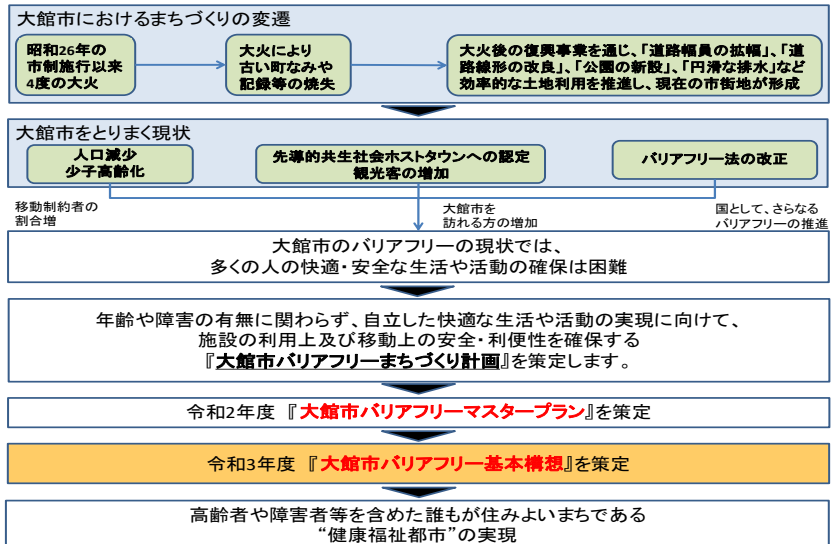
バリアフリー基本構想に基づき、特定事業において連携を図り、実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○良好な景観を形成する施策の策定スケジュール

都市計画マスタープランの見直し	平成30年度策定完了
立地適正化計画	平成30年度策定完了
地域公共交通網形成計画	平成29年度策定完了
都市計画道路の見直し	令和3年度完了
景観計画の策定と景観条例の制定	令和5~6年度予定
屋外広告物の設置規制や条例の制定	令和5~6年度予定

○バリアフリー基本構想の策定



バリアフリー基本構想策定の背景及び目的



まち歩き点検
(令和3年8月18日開催)



バリアフリーまちづくり推進協議会
(令和3年11月12日開催)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。令和2年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館城本丸跡である桂城公園の修景整備を進めるにあたり、“歴史と未来が交差する水と緑の城址公園”の整備方針とする基本計画を策定した。
 ・意見交換会(計11団体)、アンケート結果(計65人)

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

基本計画に基づき城址公園にふさわしい景観形成を目指すにあたり、市民や関係団体等と意見交換を積み重ね熟度を高める。

状況を示す写真や資料等

○基本計画の策定に関する意見交換会(計11団体)



大館市文化財保護協会(令和3年12月14日)



ヘリテージマネージャー(令和3年12月14日)

○基本計画(鳥瞰図)

整備方針: 歴史と未来が交差する水と緑の城址公園



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
一般国道7号(豊町地区・長倉地区・桂城地区)電線共同溝整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 道路関係/国直轄/電線共同溝事業

計画に記載している内容 一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成29年度～令和2年度 下り線1,270m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和3年度 上り線495m・下り線26m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和4年度以降 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進

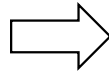
進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

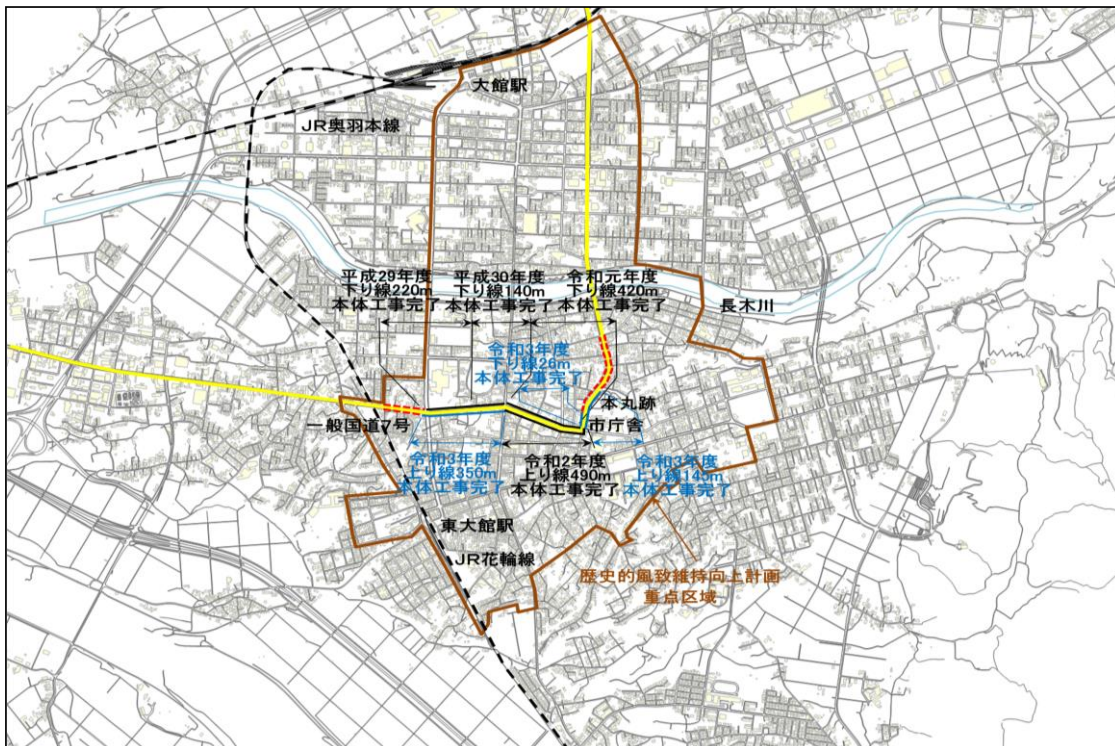
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事【上り線】
(着手前)



電線共同溝本体工事【上り線】
(完了後)
 ※歩道部舗装の美装化及び抜柱は
 次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道大館十和田湖線は、大館神社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度 下り線543.0m、上り線333.1m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和3年度 下り線 11.3m、上り線328.4m電線共同溝本体工事(管路)全線完了
 令和4年度以降 融雪設備を含む歩道新設工事を推進

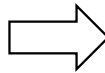
進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 電線共同溝本体工事が全線完了しており、宅地乗入口の位置を関係者と確認しながら歩道新設工事を施行する。

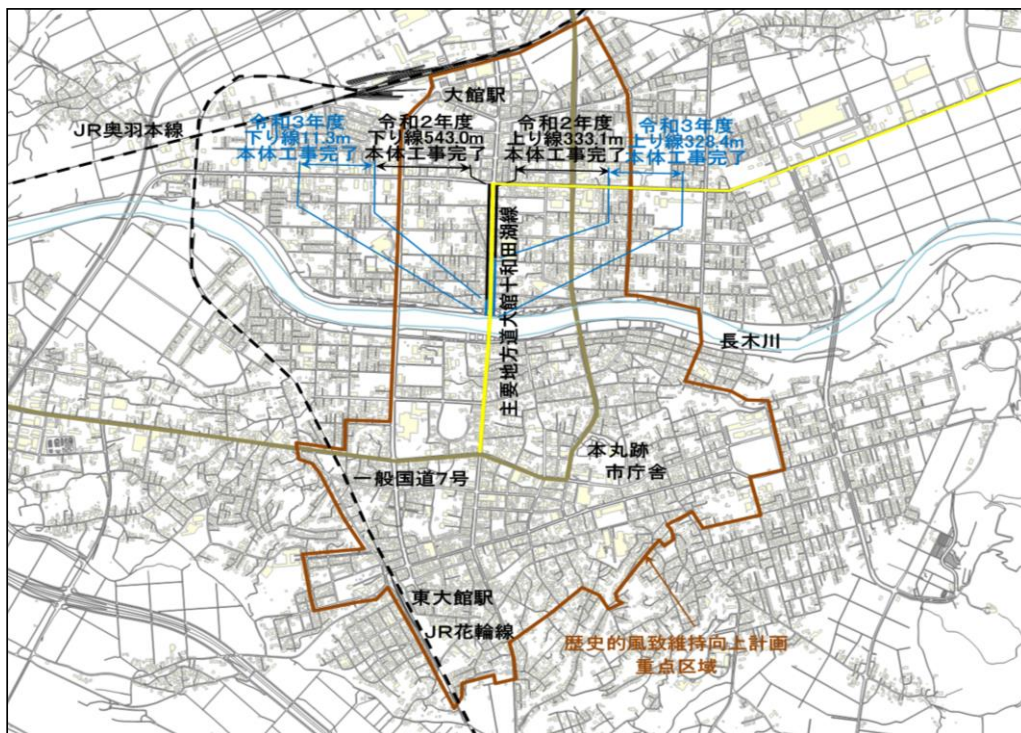
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
 ※歩道部舗装の美装化及び抜柱は令和4年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 無電柱化推進計画事業

計画に記載している内容 主要地方道大館停車場線は、市の玄関口である大館駅に近接して、大館市観光交流施設「秋田犬の里」が整備されたことから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度 上り線298.0m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和3年度 下り線182.8m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和4年度以降 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進

進捗状況

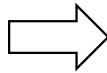
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
 ※歩道部舗装の美化化及び抜柱は
 次年度以降に施工予定



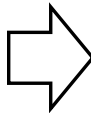
無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
道路美装化整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美装化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
三ノ丸地区、中城地区、神明地区の道路美装化について、良好な道路空間と景観を確保するため、電柱統合及び修景を行うとともに、バリアフリーに対応した路側側溝の修景が完了した。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和3年度に電柱統合及び修景、側溝修景工事が完了した路線について、周辺環境に調和した意匠デザインの統一を図り路面美装化の整備を進める。	

状況を示す写真や資料等

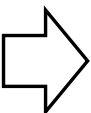
○道路美装化に伴う修景事例(中城地区)



電柱の統合及び修景(景観色鋼管柱)



カーブミラーの修景(景観色ポール・ミラー)



ゴミ箱の撤去

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
大館城跡の桜の樹形維持のため、造園業者により剪定を行った。あわせて、地域の方が大事に守り育ててきたジャヤナギについて、生育に影響を及ぼしていたツタの撤去を行った。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度に策定した桂城公園修景基本計画に基づき、城跡の土居や緑地について、樹木医の意見を聞きながら保全に努める。		
状況を示す写真や資料等			

○大館城跡周辺の緑地保全



道路美化化路線沿いの桜剪定作業



視距確保のため低木処理



ジャヤナギの生育に影響を及ぼしていたツタを撤去

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度に実施した耐震改修工事後、貸館部屋を増やし令和3年4月1日から一般見学及び貸館を再開した。隣接する新庁舎の開庁にあわせて、来館者数や多様な貸館が増加した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財である建物を広く公開するとともに、更なる多様な利用を促進を図る。また、外構工事において、開放的な困障に改修し、あわせてバリアフリーの通路を整備し、動線を確保する。

状況を示す写真や資料等

○多様な利活用状況



手作りサークル展示販売



樺細作品展



木育広場



成人式前撮り

○来館者数(令和3年度)

	来館者(見学者+貸館使用者)					開館 日数	休館 日数	平均	貸館 件数
	市内	県内	県外	海外	計				
4月	623	422	52	1	1,098	26	4	42	2
5月	570	203	68	2	843	27	4	31	1
6月	200	185	30	0	415	26	4	16	4
7月	126	68	54	0	248	27	4	9	2
8月	82	84	41	0	207	26	5	8	2
9月	83	42	28	0	153	26	4	6	0
10月	364	88	93	0	545	27	4	20	6
11月	263	62	51	0	376	25	5	15	4
12月	281	29	10	0	320	24	7	13	3
1月	15	5	11	0	31	24	7	1	1
2月	25	3	3	0	31	24	4	1	2
3月	139	22	17	0	178	27	4	7	5
計	2,771	1,213	458	3	4,445	309	56	14	32
割合	62.3%	27.3%	10.3%	0.1%					

耐震改修工事前の令和元年度の実績は、来館者1,552人、貸館14件

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
大館神明社保存補修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は本市を代表する秋祭りとして受け継がれている。例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述)

拜殿脇ならびに駐車場脇に建造物や周辺環境と調和を図り、過去に製作し展示していた十二干支の大絵馬の設置が完了した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

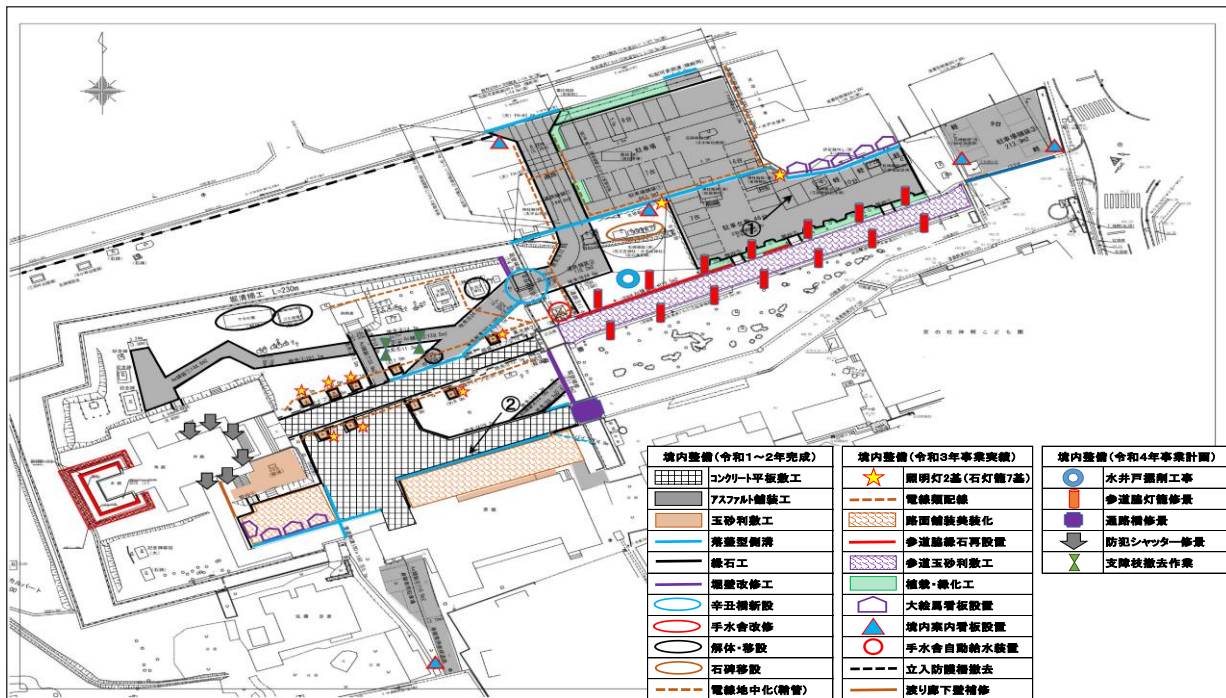
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

〇十二干支の大絵馬の設置完了



大絵馬設置工事(完成写真)



大館神明社350年記念例祭に向けた建造物保全及び境内修景計画図

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
歴史的町なみ調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業
市単独事業

計画に記載している内容 城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていないため、建築様式などの詳細調査を行う。
歴史的建造物などの建築工法の調査や修理には、高度な専門知識が必要であるため、ヘリテージマネージャーの育成を目指すとともに、その養成活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成30年度にヘリテージマネージャーの資格を修得した会員で構成する「大館歴史的建造物研究会」が令和2年度に歴史的建造物調査やスキルアップ講座などの活動を行った。
・歴史的建造物実態調査(2地区)、歴史的建造物詳細調査(1軒)、神社改修工事調査(1社)、スキルアップ講座(1回)

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ヘリテージマネージャー養成講座で、知識を修得した会員から構成する団体から、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等の推進に向け、引き続き一緒に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

○大館歴史的建造物研究会(活動実績)

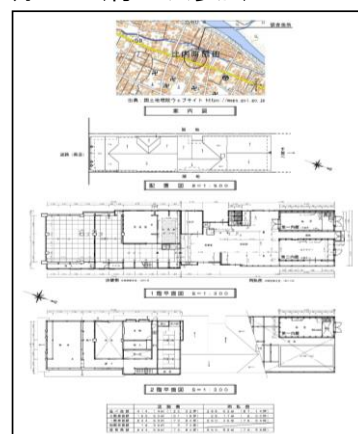
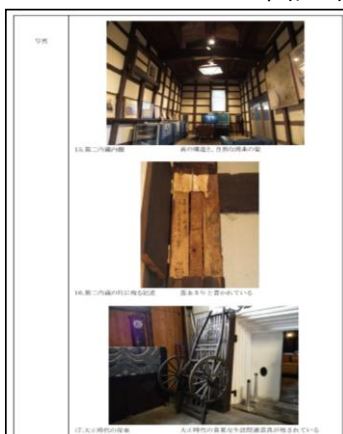
	実施日	調査等場所	活動内容
1	令和3年7月10日～ 令和3年7月21日	大館北地区・大館東地区	地域別歴史的建造物調査(93軒)
2	令和3年8月28日・ 令和3年11月10日	旧庁舎	らせん階段調査
3	令和3年9月17日	乳安商事株式会社 本社	歴史的建造物詳細調査
4	令和3年9月25日	古神明社	歴史的建造物保存・補修提案調査
5	令和3年10月23日	桜櫓館	桜櫓館耐震改修完成報告会(約30人参加)
6	令和3年12月14日	東大館駅	駅舎調査



旧庁舎らせん階段調査
令和3年8月28日



桜櫓館耐震改修工事完成報告会
令和3年10月23日(約30人参加)



歴史的建造物詳細調査報告書(乳安商事株式会社 本社)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
秋田犬情報発信拠点整備事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和5年度		
支援事業名	秋田県市町村未来づくり協働プログラム(県補助) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。大館市観光交流施設「秋田犬の里」の整備を行い、天然記念物秋田犬の歴史や文化を情報発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
大館市観光交流施設「秋田犬の里」に、多くの市民や来訪者が訪れた。(来場者数110,322人) また、忠犬ハチ公の慰霊祭(4月8日渋谷区、5月8日大館市)と生誕祭(10月9日)を関係者のみで開催した。 秋田犬の里も舞台に市長や市民エキストラが参加した「ハチとパルマの物語」が令和3年5月28日に全国で公開となった。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		これまでの取り組みのほか、レールバイクや街歩きイベントなど、多くのリピーターや市民の利活用に取り組んでいく。	

状況を示す写真や資料等

○忠犬ハチ公慰霊祭・生誕祭の開催



慰霊祭(令和3年4月8日)渋谷駅前



生誕祭(令和3年10月9日)秋田犬の里

○ハチとパルマの物語の上映



○青ガエル車両内部の一般公開開始



お化粧後の青ガエル公開開始
たしる保育園の園児30人

○大館市観光交流施設「秋田犬の里」来場者数

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
来場者数	8,107	13,208	8,699	9,856	17,194	13,190	9,685	10,169	5,884	4,440	4,173	5,717	110,322

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
大館神明社周辺環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社の例祭では各講の大きな山車が、境内に参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えるとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路などを整備してその活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

曳山車の待機場所となる駐車場に照明灯を設置するとともに、参道の修景ならびに参道脇の灯籠に灯りを施し、建造物との調和を図った。あわせて電気の引込線は、地中に埋設し境内の景観向上を図った。また、境内に総合案内板を設置し参拝者に周知を図った。

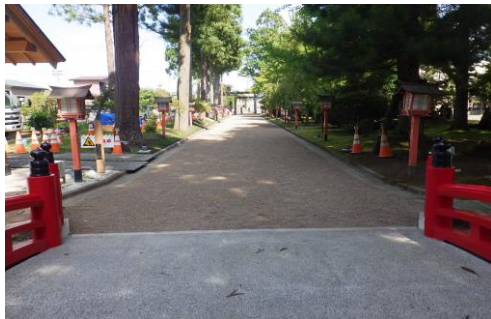
進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○境内修景整備(完成写真)



参道の美装化



曳山車通路の美装化(斎館前)



照明灯の設置(駐車場)



灯籠に照明設置(拝殿前)



総合案内板の設置(駐車場)



駐車場案内板の設置(正面入口)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
大館城下の町名標柱整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業

計画に記載している内容 大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。まち歩きのリ遊性の向上を図るため、形状や意匠を統一する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成28年度より整備を進めているどこでも博物館(史跡標柱)と連携を図り、大館城下に残る町名7箇所及び歴史的建造物5箇所標柱を設置した。あわせて、どこでも博物館のホームページについて、まち歩きデジタルマップのカテゴリ別に検索可能となるようリニューアルを行った。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 大館城門跡や歴史的建造物等に設置した標柱を市民や来訪者が楽しんで巡る歴まち散歩ルートを設定する。

状況を示す写真や資料等

○どこでも博物館(史跡標柱)との連携

- ①かねてより整備中の「どこでも博物館」の標柱とデザインの統一化
- ②多言語翻訳(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語)対応
- ③QRコードより詳細説明文、多言語翻訳及び写真等の情報を提供
- ④WEB情報を「どこでも博物館」のホームページに掲載



どこでも博物館ホームページ
(カテゴリ別検索)



○令和3年度標柱設置箇所

NO.	標柱名称
69	桜町 さくらまち
58	谷地町 やちまち
59	風呂屋町 ふろやまち
60	新町 しんまち
61	大町 おおまち
62	鍛冶町 かじまち
63	足軽町 あしがるまち
64	玉林寺 ぎょうくりんじ
65	浄応寺 じょうおうじ
66	蓮荘寺 れんしょうじ
67	宗福寺 そうふくじ
68	古神明社 ふるしんめいしや



大館城下町名標柱設置位置図(大館城下絵図)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
まち歩きマップ作成		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者が、城下町にある文化財や歴史的建造物を巡る際に利用できるまち歩きマップを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和元年度にGPS機能で連動させイラストマップや古地図上を歩く体験ができる「街歩きデジタルマップ」をDMO秋田犬ツーリズムや近隣市町村と連携し作成した。その街歩きデジタルマップを用いて、大館城下町を巡るまち歩きツアーを企画し、市民約20人が参加した。

進捗状況

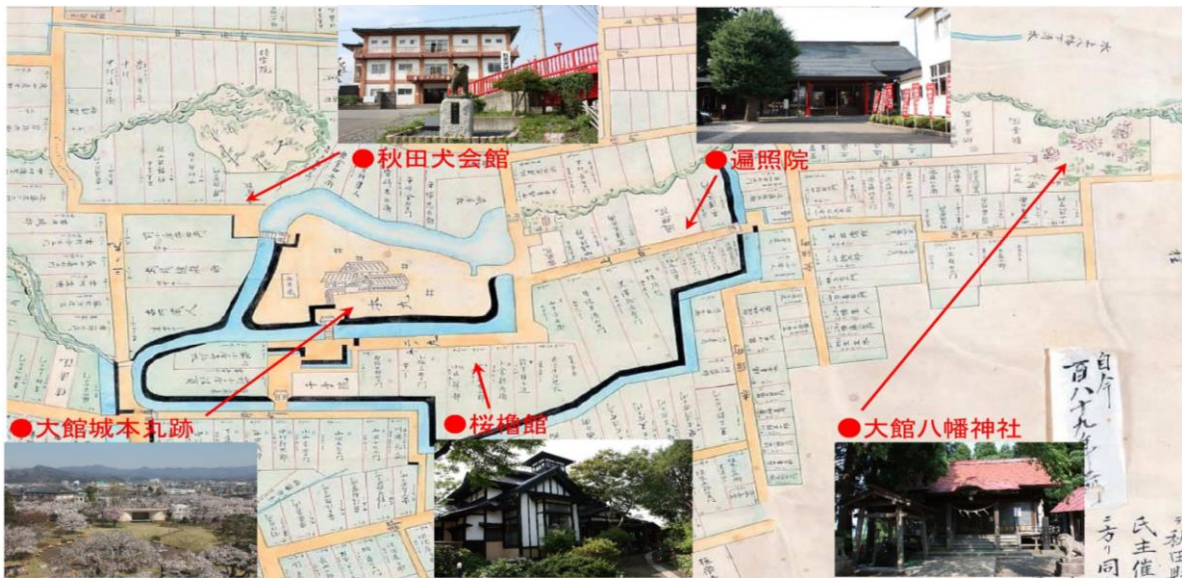
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

街歩きデジタルマップの検索情報の分析データを活用し、来訪者の回遊性の向上を図るとともに、近隣からの誘客につなげる。

状況を示す写真や資料等

〇街歩きデジタルマップツアーの開催(令和3年11月3日)



桜櫓館(旧櫻場家住宅)
スマホ操作説明



遍照院(どこでも博物館標柱)
QRコードから情報を得る

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。そこで、その地域における歴史や文化に光をあて、市民と一体となって、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

一般社団法人秋田県建築士会女性委員会が、県内で公開されている和の空間の事例の中から、県指定有形文化財の鳥潟会館(旧鳥潟家住宅・庭園)と国登録有形文化財の桜櫓館(旧櫻場家住宅)について、令和4年3月に発行した「魅力ある和の空間ガイドブック」で紹介し、現存する貴重な建築の魅力を発信した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○魅力ある和の空間ガイドブック 秋田県Ver.
(一般社団法人秋田県建築士会女性委員会発行)



魅力ある和の空間ガイドブック
冊子表紙(全編11頁)



桜櫓館(旧櫻場家住宅)
紹介ページ

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史案内人育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述)

出前講座や小学生の地域体験学習、高校生の職場体験及び大学生のインターンシップ等の要請にあたり、研修内容に歴まち散歩を企画し、大館の魅力を伝える大切さをPRした。
あわせて、コロナ禍のため文化財を紹介するオンラインツアーを企画し、市内外から参加があった。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○出前講座の開催(大館市の歴史まちづくり)



大館ライオンズクラブ(12人参加)
(令和3年5月20日)



第一中学校2年(164人)
(令和4年2月10日)

○第3回ほろろく文化財オンラインツアー(国登録有形文化財桜櫓館)



大館市桜櫓館(旧桜場家住宅)

11月13日(土) ほろろく文化財オンラインツアー 大館市桜櫓館
大館市 建設部 まちづくり課

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
小・中学校社会科副読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和43年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成29年4月に発行した中学校社会科郷土資料「わが郷土 大館市」を全面改訂するにあたり、中学校社会科郷土資料編集委員会を組織し、ふるさとキャリア教育に活用できる資料としてなどの編集方針に基づき、改訂作業を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○郷土資料の編集方針

- ①「郷学化」=大館に関する基礎的知識を網羅し、誇りも育てる資料集
 - ・「大館歴史トピックス」増設により、歴史と現代をつなぎ、郷土史への興味関心を高める
 - ・「地理」「公民」分野においても、大館の強みや良さを知り、誇りを育てられる内容に
 - ・一般の大館市民にも、「大館郷土読本」として親しまれる冊子にしたい
- ②「授業資料化」=授業で使える郷土資料集+資料集を活かせる授業過程やカリキュラム
 - ・歴史授業における「(その時の)、大館コーナー」の設定(導入、課題設定、具体例)
 - ・特設単元=「元慶の乱」「大館戊辰戦記」を組み込んだ歴史学習カリキュラムを
- ③「ICT化」=ICT化に対応した資料集
 - ・QRコードを活用した「動画・写真」の組み込み
 - ・生徒が作成するデジタル「レポート」、「歴史新聞」、「未来都市市民提言」への活用

○編集スケジュール

- 令和3年 6月29日 編集方針の説明、担当分担
- 令和3年 8月17日 途中経過、情報交換、全体に関わる統一事項確認
- 令和3年11月15日 ページ、写真の数報告
- 令和4年 1月 6日 原稿締め切り、提出次第入稿
- 令和4年 1月26日 一次校正
- 二・三次校正(研究所)、四次校正(委員長)
- 令和4年 3月31日 原稿完成

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業・地域文化財総合活用推進事業
 伝統文化親子教室事業(地域展開型・教室実施型)
 市単独事業

計画に記載している内容 市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。また、次代を担う子どもたちへ、郷土芸能や生活文化などを体験できる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述)

民間4団体から構成する「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」において、令和3年度に記録作成事業で大館神明社例祭余興奉告祭の12講の伝承曲を記録を収録、CDを作成し、次世代を担う子どもたちに継承するため市内の小中学校に配布した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成30年度～令和4年度(5カ年)の事業期間中は、参加団体の募集を継続し、必要な支援を行う。

状況を示す写真や資料等

○地域文化財総合活用推進事業

	活動事業名	事業区分	平成30年度活動実績	令和元年度活動実績	令和2年度活動実績	令和3年度活動実績
1	文化遺産ホームページ作成	情報発信	ホームページ概要版作成	ホームページ英語版作成	ホームページ中国語版作成	
2	文化遺産パンフレット作成	情報発信	文化遺産リーフレット概要版作成	リーフレット作成(英語版・中国語版)	作成済のリーフレットをホームページに掲載	
3	ヘリテージマネージャー育成	人材育成	養成講座13回開催 26人資格修得	ステップアップ講座 シンポジウム開催	ステップアップ講座 工事現場研修会開催	ステップアップ講座 桜館耐震改修報告
4	秋田の祭囃子シンポジウム開催	普及啓発	祭囃子シンポジウム開催 30人参加	祭語り講演会開催 40人参加	※コロナ禍で企画中止	
5	大館囃子教則映像記録・大館神明社例祭記録映像	記録作成	大館囃子映像記録DVD作成			神明社祭典各講独自の伝承曲を収録しCD製作
6	大館囃子講習会開催	後継者養成	講習会9回開催 370人参加	講習会9回開催 422人参加	※コロナ禍で講習中止	講習会の開催



大館神明社祭典／12講の「地囃子」後世に
 (令和4年3月30日 北鹿新聞)

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和3年度地域応援プランにおいて、採択された6団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○地域応援プラン取り組み活動(令和3年度実績)

項目	地域	地区	団体名	活動テーマ
ステップアップ	大館	矢立	粕田生産森林組合	水芭蕉の生育環境や散策路の整備、登山道の整備などによる憩いの場創出と地域の活性化
活動支援	大館	十二所	十二所再発見探訪隊	歴史ある十二所地区の新たな観光資源の創出、交流人口拡大と健康長寿の実現
	田代	山田	十ノ瀬藤の郷を活用した地域づくりの会	十ノ瀬藤の郷を基軸とした、地域の観光情報の発信及び地域活性化
	田代	岩野目	岩野目地域づくり協議会	田代公民館岩野目分館を活用した地域行事の継続、子どもから高齢者までが集える新たなイベント創出等を通じた地域コミュニティの維持・活性化
	大館	長木	上代野町内会	旧岱野駅周辺整備・環境美化による、ドーム周辺緑地、樹海公園、桜並木等と一体となった名所の創造。「あじさいレールロード10年プラン」
計画支援	比内	東館	駒橋会	湧水の再生を核としたピオトープの整備と、地域の親水・憩いの場の創出による地域活性化



上段:案内看板を製作、設置
 下段:園内の説明案内
 (十ノ瀬藤の郷を活用した地域づくりの会)

上段:旧小坂鉄道沿線にあじさいを植樹
 下段:旧小坂鉄道沿線シンポジウムの開催
 (上代野町内会)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
天然記念物(秋田犬)の保存及び育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国・海外から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

秋田犬保存会は、秋田犬本部展覧会を令和元年度は市庁舎建設のためニプロハチ公ドームで開催し、令和2年度はコロナ禍のため中止としたが、令和3年5月3日に以前から舞台であった大館城本丸跡で3年ぶりに開催した。展覧会には、国内外から171匹が出陳し、凜とした立ち姿を競った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

大館城本丸跡の修景整備にあたり、歴史ある秋田犬本部展覧会に相応しい舞台となるよう秋田犬保存会と意見交換を重ねる。

状況を示す写真や資料等

○第143回秋田犬保存会展覧会の開催



第143回秋田犬保存会展覧会
 (大館城本丸跡/桂城公園)
 令和3年5月3日

○課題となっている秋田犬保存会員数や犬籍登録数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
1月	82	220	413	324	83
2月	277	424	629	401	100
3月	213	548	949	413	243
4月	612	1,705	1,336	65	540
5月	1,525	2,904	1,850	0	859
6月	1,236	2,290	1,144	502	717
7月	991	2,174	964	783	725
8月	2,046	3,593	1,943	936	863
9月	1,072	2,010	1,174	966	628
10月	1,047	2,003	1,307	992	723
11月	888	1,302	941	1,030	596
12月	166	518	360	319	173
計(人)	10,155	19,691	13,010	6,731	6,250
増減	-	93.9%	-33.9%	-48.3%	-7.1%

秋田犬博物室の観覧者数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
国内	2,704	2,541	2,591	2,312	2,450
海外	3,967	2,284	1,519	1,279	1,019
計	6,671	4,825	4,110	3,591	3,469
増減	-	-27.7%	-14.8%	-12.6%	-3.4%

秋田犬保存会会員数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
国内	2,310	2,460	2,500	2,590	2,616
海外	683	612	606	519	436
計	2,993	3,072	3,106	3,109	3,052
増減	-	2.6%	1.1%	0.1%	-1.8%

秋田犬犬籍登録数の推移

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 伝統的工芸品の「大館曲げわっぱ」の製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和3年3月に策定した「大館市木材利用促進計画」を推進するため、毎月1回「教えてはちくん！木づかい通信」を計12回配信するとともに、森林・林業・木材産業に関するWEBセミナー「WOOD CHANGE！ODATEウェビナーシリーズ」を計8回配信した。
 また、令和元年9月のウッドスタート宣言により、木に親しむ活動を通じ、木の良さや意義を伝える「木育インストラクター」を養成する講座し、市民38人が認定を取得した。

進捗状況

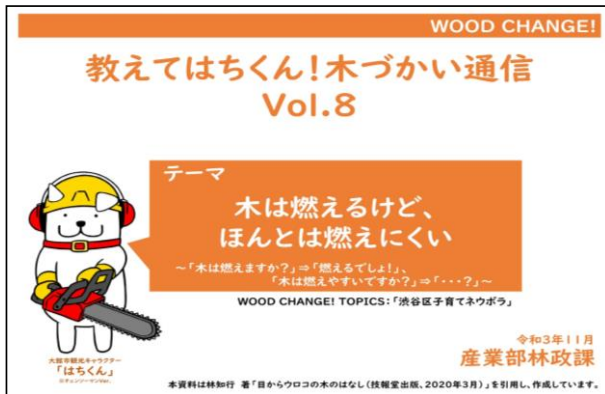
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

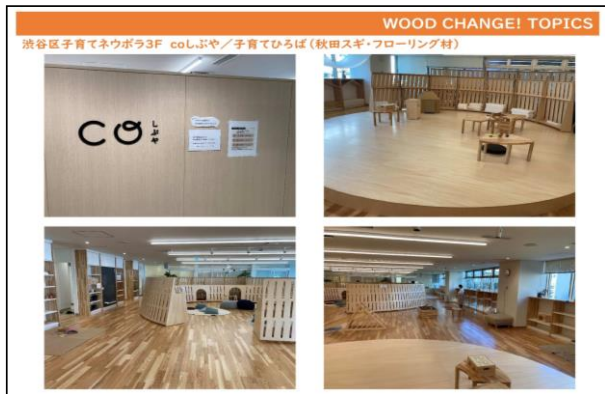
大館市木材利用促進計画に基づく施策を展開し、木材利用を通じて伝統的工芸品のPRを図り、販路拡大を目指す。

状況を示す写真や資料等

○教えてはちくん！木づかい通信



教えてはちくん！木づかい通信 Vol. 8
 (令和3年11月配信)



大館市産秋田スギ製品が活用された
 渋谷区子育てネウボラを紹介

○木育インストラクター養成講座



養成講座(38人受講)
 (令和3年10月16日開催)

○大館市森林(もり)づくり講演会



講演会(約30人参加)
 (令和4年2月5日開催)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・鳥潟会館庭園名勝地調査委員会を開催し、調査報告書のとりまとめに向けて、資料調査・内容の検討を行った。
- ・ヘリテージマネージャーステップアップ講座において、大館北地区、大館東地区の歴史的建造物の地域別調査を行った、報告書を作成した。
- ・無形民俗文化財については、神明社例祭の各講伝承曲のCDを制作して、各講及び小中学校に配布した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

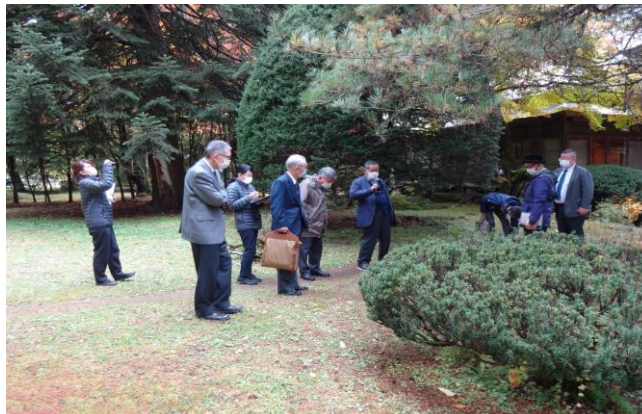
・文化財の維持管理には多くの資金が必要で、所有(管理)者の負担も大きい。それだけに天然記念物の再生や、新たな重文を目指す取り組みには、多くの市民の理解や応援が必要であり、社会に還元するための活用にも考慮する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○鳥潟会館庭園の国名勝指定への取り組み

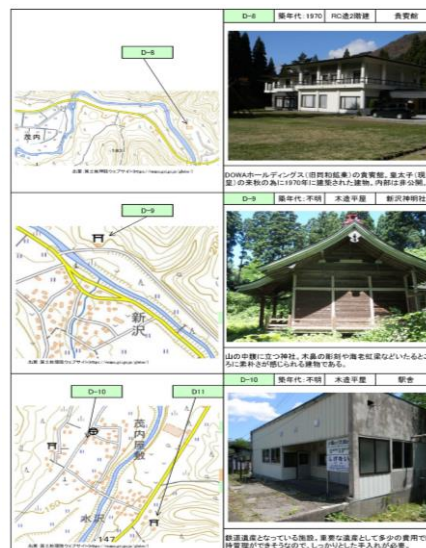
鳥潟会館庭園名勝地調査委員会開催(第4回)

- ・令和3年10月29日
- 調査等の経緯を報告
- 鳥潟会館庭園の価値を協議



第4回調査委員会
 令和3年10月29日(鳥潟会館庭園)

○歴史的建造物地域別調査



歴史的建造物地域別調査報告書(大館北地区・大館東地区)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・大館郷土博物館所蔵の軸装を3点修復した。
- ・文化財防火デーに重要文化財八幡神社で消防訓練を行った。八幡神社の関係者、近隣の消防団員などが参加して、いざというときに迅速な対応ができるように実地確認した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・個人や民間団体が所有する文化財については、補助制度を活用しても相当の負担が必要であるため、修復などを行うのが困難な状況である。公共事業として周辺環境と一体に整備することが望ましい。

状況を示す写真や資料等

○軸装の修復

■ 「義幹夫人肖像画」 軸装修復 桐箱新調

(軸装表面修復前)



(軸装裏面修復前)



(軸装巻いた状態修復前)



■ 概要

作品名：「佐竹義幹夫人肖像画」 (泰祥院様御真像)
 作者名：不詳 制作年代：江戸時代後期
 材質技法：絹本 着色 表装形式：筋分け三段仕立 (紙表具)
 寸法：本紙) 81.0×32.8cm

軸装) 丈、5尺0寸5分 (153.0cm)	中、1尺4寸 (42.4cm)
一文字) 上、9分	下、6分 風帯) 5分5厘
中廻し) 上、3寸5分	下、1寸7分
総縁) 天、1尺0寸2分	地、5寸 柱、1寸5分
細筋) 5厘	軸中) 1尺5寸9分 軸径) 8分
材質：本紙) 絵絹	一文字) 金襴 中廻し) 緞子紙
天地) 緞子紙	軸首) 朱塗りバチ軸 (右側欠失)

○文化財防火デー防火訓練



重要文化財八幡神社
(令和4年1月26日)



国登録有形文化財桜櫓館
(令和4年1月26日)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・大館郷土博物館では企画事業等を6件実施した(計2,058人)
- ・出前講座を含む各種講座(オンライン含む)を8企画を開催した(計1,077人)
- ・発掘調査(1箇所)、試掘・確認調査(10箇所)を実施

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・コロナ禍であるため、感染状況に応じてオンライン開催を組み入れるなど工夫して普及・啓発に努める必要がある。
 ・市内には、未発見の埋蔵文化財包蔵地がまだ多く存在する可能性があるため、踏査や試掘などにより、さらなる埋蔵文化財包蔵地の分布の把握に努めていく必要がある。
 状況を示す写真や資料等

○大館郷土博物館(企画事業・講座名)

	企画事業名	開催期間	入場者数
1	端午の節句展	令和3年4月25日～ 令和3年5月30日	315人
2	戸嶋靖昌 恩師と友人たち展	令和3年7月24日～ 令和3年8月29日	583人
3	松村六也展	令和3年9月17日～ 令和3年10月17日	637人
4	無料開放デー(文化の日)	令和3年11月3日	38人
5	おひなさま展	令和4年2月11日～ 令和4年3月21日	445人
6	おひなさま展 琴の生演奏	令和4年3月6日	40人

○大館郷土博物館(各種講座)

	各種講座名	開催日	参加人数 ()内You Tube参加
1	第1回ほくろく文化財オンラインツアー ①長走風穴 ②旧小坂鉄道関連施設	令和3年9月11日	21人 (144)人
2	第2回ほくろく文化財オンラインツアー ①康楽館 ②鳥潟会館	令和3年10月23日	23人 (86)人
3	第3回ほくろく文化財オンラインツアー ①鹿角市の文化財(1) ②桜櫓館	令和3年11月13日	13人 (39)人
4	第4回ほくろく文化財オンラインツアー ①旧小坂鉱山事務所 ②鹿角市の文化財(2)	令和3年12月18日	15人 (46)人
5	ふるさと歴史講座 大館の遺跡	令和4年1月19日	71人
6	ほくろく博物館講座プレ企画	令和4年1月19日～ 令和4年2月18日	(127)人
7	第1回ほくろく博物館講座(4講座)	令和4年2月19日	23人 (233)人
8	第2回ほくろく博物館講座(5講座)	令和4年3月17日	27人 (209)人



ほくろく文化財オンラインツアー
(令和3年12月18日)



大館城跡発掘調査
(旧庁舎駐車場)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
バリアフリー「基本構想の要所議論」重点地区や特定事業	令和3年11月13日	北鹿新聞
バリアフリー「基本構想の素案策定」駅、役所周辺を重点に	令和4年1月31日	北鹿新聞

評価対象年度 令和3年度

定性的・定量的評価(自由記述)

大館市では、東京2020オリンピック・パラリンピック大会をきっかけにタイ王国パラリンピアンとの交流を通じて、共生社会の実現のため、「ユニバーサルデザインのみちづくり」「心のバリアフリー」に取り組み、令和2年12月25日に先導的共生社会ホストタウンの登録を受けた。

登録をきっかけに、全庁を挙げての取り組みにおいて、令和3年3月22日にバリアフリーマスタープランを策定した。引き続き、マスタープランの方針に基づき、令和4年3月31日にバリアフリー基本構想を策定した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

バリアフリー基本構想に基づき、ハード事業のほかソフト事業を着実に推進し、「誰もが、安全・安心・快適に暮らし、生き活きと地域とつながり、支え合う共生のみち大館」を目指す。

状況を示す写真や資料等



1月にも意見公募

1月にも意見公募は、基本構想の要所議論の成果を踏まえ、重点地区や特定事業の推進に向け、市民の声を聴き取ることが重要である。そのため、1月に意見公募を実施し、市民の意見を聴き取り、基本構想の策定に活かす予定である。



基本構想の素案策定

基本構想の素案策定は、重点地区や特定事業を中心に、市民の意見を聴き取り、策定された。今後の実施に向けて、市民の理解と協力を得ることが重要である。

バリアフリー「基本構想の要所議論」
(令和3年11月13日 北鹿新聞)

バリアフリー「基本構想の素案策定」
(令和4年1月31日 北鹿新聞)

- 歴史まちづくりに関連した報道記事(北鹿新聞)
- 令和3年 4月 9日 青ガエル車両内部一般公開
 - 令和3年 4月 11日 桜櫓館耐震改修後初の貸館
 - 令和3年 5月 4日 秋田犬本部展覧会「3年ぶり桂城公園で」
 - 令和3年 5月 7日 新本庁舎で業務開始
 - 令和3年 5月 24日 羽州街道で広域交流「矢立峠の古道歩く」
 - 令和3年 7月 3日 半夏生の田代岳「今年の作柄は豊作」
 - 令和3年 7月 14日 独鈷大日神社で湯立て「12年に1度の式年祭」
 - 令和3年 7月 17日 扇田神明社祭典「2年ぶり神輿お目見え」
 - 令和3年 7月 25日 中城の道路美化へ「側溝改良や電柱統合」
 - 令和3年 8月 10日 東京オリンピック聖火「大文字から分火」
 - 令和3年 9月 12日 大館神明社祭典「来年の余興実施願い」
 - 令和3年 10月 31日 鳥潟会館庭園「国名勝23年度指定目指す」
 - 令和3年 11月 4日 デジタルマップで街歩き「古地図をスマホで運動」
 - 令和3年 11月 21日 広域フォーラム「一大観光圏に」
 - 令和3年 12月 25日 歴史的風致維持向上協議会「桂城公園ゾーン設定し修景へ」
 - 令和3年 12月 31日 大館城跡発掘調査「木杭28本が現存」
 - 令和4年 1月 19日 「歴まち計画」折り返しへ
 - 令和4年 1月 31日 バリアフリー「基本構想の素案策定」
 - 令和4年 2月 24日 歴史まちづくり「中間評価へ市民アンケート」
 - 令和4年 3月 29日 歴史的風致維持向上協議会「計画認知度は低く」

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

官民協働によるまちづくりへの機運の高まり

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述)

中間評価シート作成にあたり、前期5か年の取り組みについてアンケートを実施した。歴史的風致維持向上計画や歴史的風致の認知度は低かったが、ハード及びソフト事業については、積極的又は必要に応じて取り組んでいくべきという回答が9割以上を占めた。また、まちづくりへの参加については、4人に3人が参加したいという回答であった。アンケート結果から、取り組みについて一定の評価や理解を得る事が出来たと推察するとともに市民と一緒にまちづくりを行いたいという機運が高まっている。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
今後後期5か年においては、歴史的風致の認識向上に繋がる取り組みを推進する必要がある。また、まちづくりを進めるにあたり引き続き市民と一緒に取り組んでいく。

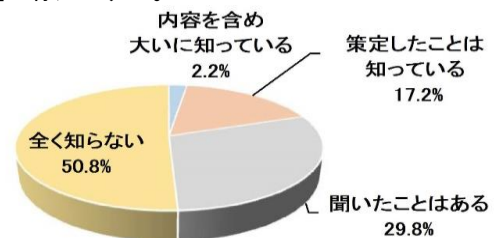
状況を示す写真や資料等

○中間評価アンケートの結果(一部抜粋)

- (1)実施期間 令和4年2月25日～令和4年3月14日
- (2)実施方法 市全域の18歳以上の市民を年齢構成の比率で1,000人無作為抽出し、アンケート票を配布、回収
- (3)回答総数 456人

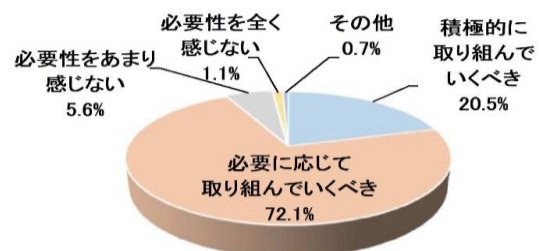
問1 平成29年3月に策定した大館市歴史的風致維持向上計画をご存知ですか。

内容	人数(人)	割合
内容を含め大いに知っている	10	2.2%
策定したことは知っている	77	17.2%
聞いたことはある	133	29.8%
全く知らない	227	50.8%
無回答	9	-
計	456	100.0%



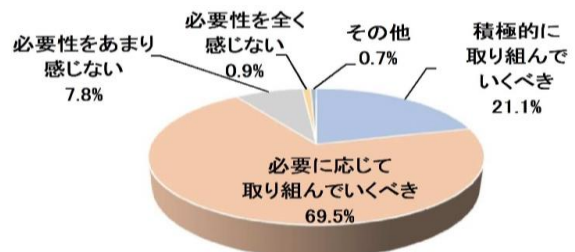
問2 ハード事業の取り組み(歴史的な町なみや建造物の保全など)について、どのようにお考えですか。

内容	人数(人)	割合
積極的に取り組んでいくべき	92	20.5%
必要に応じて取り組んでいくべき	323	72.1%
必要性をあまり感じない	25	5.6%
必要性を全く感じない	5	1.1%
その他	3	0.7%
無回答	8	-
計	456	100.0%



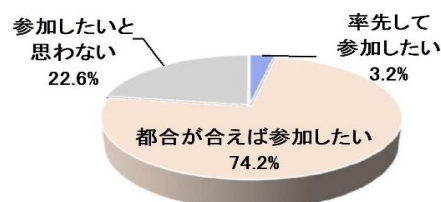
問3 ソフト事業の取り組み(民間提案型まちづくりや広域連携など)について、どのようにお考えですか。

内容	人数(人)	割合
積極的に取り組んでいくべき	94	21.1%
必要に応じて取り組んでいくべき	310	69.5%
必要性をあまり感じない	35	7.8%
必要性を全く感じない	4	0.9%
その他	3	0.7%
無回答	10	-
計	456	100.0%



問4 まちづくりへの参加について、基本的な意向を教えてください。

内容	人数(人)	割合
率先して参加したい	14	3.2%
都合が合えば参加したい	328	74.2%
参加したいと思わない	100	22.6%
無回答	14	-
計	456	100.0%



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称 : 大館市歴史的風致維持向上協議会(第9回)	
会議等の開催日時 : 令和4年3月28日 ①具体化方策の前期5か年の実績について ②中間評価アンケートの結果について ③歴史的風致維持向上計画の中間評価について ④桂城公園修景整備基本計画について	
(コメントの概要) ○目指すべきところで、まちを歩いて、触れて、知ってというまちに愛着と誇りをもらうような形の“まち育て”が将来にわたって、持続可能なまちづくりの上で大事だと思っているので、これからも丁寧に取り組んでいただきたい。 ○中間評価についても丁寧に評価いただいたと思っています。歴まち計画に基づいて風致を維持向上してきた成果をぜひ市民の皆様にも知っていただきたいことと、歴まちでこれだけ変わっていくのだというところをぜひ周囲にも波及して行って欲しい。 ○歴まち計画を進めていくうえで、バリアフリー、公共交通など様々な部分で改善していくかと思いますので、関係部署、民間とも連携して進めてほしい。 ○私たちは300年前400年前の歴史は知ってるけれども、50年前100年前の歴史を粗末に扱ってきたかも知れない。この大館の桜櫓館や神社などそういったものを古くて新しくやっているのが維持向上計画で一番大切なところだと思います。	
(今後の対応方針) ○大館城本丸跡の桂城公園について“歴史と未来が交差する水と緑の城址公園”の整備方針に基づき、市民が自信と誇りを持てる場所となるよう、時間をかけて整備を進めていく。 ○重点区域外にある歴史的風致について、認識の向上を目指すにあたり、どのような形で光を当て、魅力を高めていくべきかを改めて関係者と意見交換を重ねる。	